

第3回 日本静脈経腸栄養学会 九州支部学術集会

日時：2011年9月17日（土）

会場：JR HAKATA CITY「JR九州ホール9F」

当番世話人：野上哲史 先生（特別医療法人熊本第一病院院長）

09:40 - 09:45	開会の辞 当番世話人：特別医療法人 熊本第一病院院長 野上哲史
09:45 - 10:35	教育セミナー① 滋賀医科大学附属病院 栄養治療部 佐々木雅也 「エネルギー代謝からみた栄養管理のエビデンス」 座長：新日鐵八幡記念病院 救急・治療部 海塚安郎
10:35 - 11:25	教育セミナー② 宜野湾記念病院 内科 湧上聖 「微量元素と栄養療法」 座長：新日鐵八幡記念病院 救急・治療部 海塚安郎
11:25 - 12:00	休憩（世話人会）
12:00 - 13:00	ランチョンセミナー 福岡大学病院 総合周産期母子医療センター 小児外科担当 診療教授 増本幸二 「静脈栄養時における微量元素、ビタミン B1 の必要性」 座長：久留米大学医学部外科学講座小児外科部門 准教授 田中芳明
15分休憩	
13:15 - 14:15	一般演題 7 演題 座長：宮崎江南病院 副院長 白尾一定 【一般演題 1】 「寝たきり患者への経腸栄養剤投与量 ～投与カロリー式の完成を目指して～」

野田武 大分循環器病院、北村洋子 佐賀関病院、刈谷豊田総合病院高浜分院
長谷川正光

【一般演題 2】

「経管栄養患者における排便の変化 水分量を見直して」
福島美恵 井崎裕子、石橋敏子、池田りつ子、横倉義典、宮崎卓
医療法人弘恵会 ヨコクラ病院 療養病棟

【一般演題 3】

「当院 NST における摂食・嚥下機能評価について」
福元俊輔 1)、吉川博政 2,3)、吉田将律 2,3)、長野祥子 2,3)、合屋美香 2,4)、
増田香織 2,5)、吉村弘美 2,5)、戸次真知子 2,5)、濱地暁子 2,7)、辻丸祐規子
2,6)、池本美智子 2,5)、松尾 進 2,7)、福泉公仁隆 2,8)
1) 福岡東医療センターNST・歯科口腔外科 2) 九州医療センターNST 3)
歯科口腔外科 4) リハビリテーション室 5) 栄養管理室 6) 看護部 7) 薬
剤部 8) 小児外科 9) 消化器内科

【一般演題 4】

「経皮内視鏡的胃瘻造設術時の NST の関わりとその成果」
安達麻美、大久保恵子、一瀬悦子、海塚安郎
新日鐵八幡記念病院

【一般演題 5】

「当院の PEG 施行例の現状と今後の課題」
牧本多美子 小林祐
社会福祉法人恩師財団済生会みすみ病院

【一般演題 6】

「栄養アセスメントを重視した、短腸症候群でイレオストーマを持つ患者への
退院支援
－長期急性期治療を経て複数の合併症をもった患者を振り返って－」
境田理奈子 草場理恵 上原正子 森山絵理 西田由佳 小山美幸 吉田忍
森美和子
久留米大学医療センター4 階西入院棟

【一般演題 7】

「緩和ケア対象患者における NST 活動とその成果」
藤田和彦、本田勝美、永吉萌、置田真未、緒方歩、野上哲史
熊本第一病院 NST

10 分休憩

14:25 - 15:15	教育セミナー③ 明和病院 看護部 矢吹浩子 「栄養サポートチーム加算と看護師」 座長 熊本第一病院 野上哲史
15:15 - 16:05	教育セミナー④ 新別府病院 栄養部 田崎亮子 「NST 加算が指すもの ～当院の NST 活動報告と今後の課題」 座長 熊本第一病院 野上哲史
16:05 - 16:10	閉会の辞 当番世話人: 野上哲史

「第3回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会」を終えて

平成23年9月17日（土）、第3回九州支部学術集会を福岡市にて開催いたしましたところ、当初の予想を超える数の参加をいただき、充実した集会となりました。ここに御礼とともに開催のご報告を申し上げます。

教育セミナーでは午前中のセッションにて「エネルギー代謝からみた栄養管理のエビデンス」（滋賀医科大学栄養治療部教授 佐々木雅也 先生）、「微量元素と栄養療法」（宜野湾記念病院内科 湧上聖 先生）、の演題にて、栄養療法上の重要な問題について、大変おもしろくて実際の臨床においても有益なご講演をいただきました。午後のセッションでは「栄養サポートチーム加算と看護師」（明和病院看護部 生）、「NST 加算がめざすもの」（新別府病院栄養管理部をいただき、NST 加算にまつわるチーム医療の在り方について認識を深めることができました。

ランチョンセミナーでは「静脈栄養時における微量元素、ビタミン B1 の必要性」（福岡大学病院総合周産期母子医療センター診療教授 増本幸二先生）の貴重な臨床研究に関するご講演をいただきました。さらに、一般演題7題の発表がなされました。演者を交えた質疑応答や幕間での参加者同士の討論が会場の内外において活発に行われました。

交通アクセスに恵まれたオープン間もない会場（JR 博多駅構内のコンベンション施設）であったことも幸いし、参加人数は521名にのびりました。記載のあった職種別の内訳は以下の通りです。（医師：42、歯科医師：8、薬剤師：72、栄養士：179、看護師：167、臨床検査技師：14、言語聴覚士：5、理学療法士：4、作業療法士：2、歯科衛生士：5）

教育講演、ランチョンセミナー、一般演題の講師、演者、座長、参加者の皆様に改めまして心から御礼申し上げます。今回の開催につきましては準備から当日の運営まで、支部会会長の久留米大学医学部小児外科の皆様のご尽力によるものです。お蔭様で無事滞りなく終了いたしました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、協賛頂いた企業各社にも深く御礼申し上げます。今後とも、本学術集会が栄養療法の質の向上のみならず会員相互の情報交換の場として活用され、発展することを切に希望しております。

第3回日本静脈経腸栄養学会九州支部学術集会
当番世話人 熊本第一病院院長 野上哲史